

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2018. 12

No.304

個人重視、情報の氾濫、などの要素を挙げて
いました。これらが引き金となつて、ストレスを
抱えこんでしまう人が増えていると言われてい
ます。

先日、「メンタルヘルス対策にどう取り組む
か?」というテーマで、トヨタ健保の先生にご
講演をいただきました。

近年の社会動向として、「ストレス」に関する
話題が新聞等を賑わしています。社会環境の
変化により、様々な「ストレス」の解釈がなされ
ています。当たり前ですが、戦後世代、昭和後
半世代、平成世代の人では、それぞれ育った環
境や「ストレス」に対する認識が違います。しか
し、一部の社会や組織が対応に追いついていな
いという「ズレ」が生じているのではないでしょ
うか。

ストレスの定義は難しいですが、先生は、競
争社会、品質環境重視、専門化・高度化、成
果主義、効率化（人員削減）、スピード重視、
などしたらうまく仕事をやっていけるのかを考
か。

こので私は疑問を感じました。「これらすべて
を否定して、『ビジネス』は成り立つのでしょうか。
世界の中で日本の企業が生き残っていくには、
ありとあらゆる問題を解決していくしか方法
はないと思うのです。この講演は、イナテックの
課長以上の皆さんで勉強したわけですが、聞
いたことをすぐ実行しようとすると、発言も
行動も躊躇したり止まつたりして、業務が進
まなくなるのは、と少し議論しました。

確かに、何が原因で病気になってしまったの
か、どういう言動が人を傷つけるのか、などに
ついて勉強し理解することはMUSTです。ま
た、「〇〇ハラスメント」も同様です。これも相
手の受け止め様で、何でも「〇〇ハラスメント」
になってしまふわけです。（日本のマスコミが面
白がつて記事にしている）しか思えない「〇〇
ハラスメント」もあるように思いますが）

しかし、「ビジネス」が成り立つて初めて企業
が存続するのです。皆さんの家族に喜んでいた
だけのイナテックを創造していくことが、私（イ
ナテック）の使命です。そして、社員の皆さんも、
どうしたらうまく仕事をやっていけるのかを考
え、努力する」とも必要でしょう。世の中は自
分一人では生きていけないという事実がある
からです。

今回の勉強会を通して、この問題を冷静に
考えてみると、やはり「コミュニケーションの欠
如」が大きく影響していると考えます。「上司
は部下のことを思いやる心」つまり、「利他の
心」、「仁の心」ではないでしょうか。これはイナ
テックの企業理念そのものです。

そして、そのコミュニケーションをとる絶好の
機会が「イナテック木造同好会」なのです。木
造同好会に大いに参加し、自分の意見を聴い
てもらい、相手の意見も聞いてあげること、そ
れがメンタルヘルス対策の第一歩だと思います。
イナテックにはそれができる環境があるので
す。

働き方改革の中で、「残業低減」にはもちろん
取り組まなければなりませんが、ローンの支
払いなど何かとお金のいる人もいるでしょう。
そのような事までも木造同好会の中で、さり
げなく話せば、周りの人達や上司の人たちの
耳にもさきと届くことでしょう。

「上司は部下を思い、部下も上司の思いを酌
んであげる」という、お互いに助け合い、気持ち
の良い職場をつくっていきましょう。そして、
皆で少しづつ会社を変えていきましょう。ゴブ

プライアンス遵守は当然ですが、皆さんがついて来られるスピードで変えていきましょう。会社は止まっているわけにはいかないのです。

本物に至る唯一の道

「継続は本気さの証明だ」。本気であることを示すのは継続しかない。本物は続く。統ければ本物になる。

「致知10月号」に載っていた、志タツトワーク「青年塾」代表の上甲晃さんの言葉です。これは先月号にも書きましたが、皆さんに、もう一度お伝えしたいと思いました。改めて、今私たちがやるべきことは、イナテックグループ会社の連携を取り、「加工点」に「たわる」として強く認識しました。

イナテックは「切削加工のプロ集団」です。刃具メーカーの勤めで、何も考えずに刃具を使い続けるというのはプロがやることですか。切削用油もメーカーの勤めで、すぐ変えてしまいます。そして磨油のオーバーレード。年間12百万円もお金をかけて処分するのはプロですか。もつと自分の頭で考え、自分で行動しなければプロとは言えないのではないか。

松下幸之助氏は「知っているだけではあかんのや、できる人にならな」と言ったそうです。できて初めて「知った」意味があります。そして大切なことは、続けることです。

「いい話を聞いたな」で終わるのではなく、「よし、やってみよう」と始めれば、その行動が力になります。継続が本物になるのです。

松下幸之助氏の言葉をかみしめて、「加工点」に「たわる」「本物のプロ集団」を目指そう。

人知名位爲榮、不知無名無位之榮爲最眞。人知饑寒爲憂、不知不饑不寒之憂爲更甚。

世人は名譽や地位があるのが楽しみであることは知っているが、名譽も地位もない者の方が、もつとも眞実な楽しみを持っていることを知らない。また、世人は飢えどこで衣食にこと欠くのが憂いであることは知っているが、衣食にこと欠かない富める者の方が、いつそう深刻な憂いを抱いていることを知らない。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 ノナデック

2018. 11
No.303

外にならぬでござります。

安藤曰「でも女人同士で晩ごはんを見ている
光景で、特に若者ほど、云々をしたり、シミシビ
ングナイ、を見たりする。」云々を云うと、
實に女性が女へ恋人がいるにも関わらず、ス
マホをやっています。何か、愛などを感じていまし
た。

最近、職場が静かにならた
部下をうつすに一寸の立場の自己埋穢も業務に
必要で隣となりの工連幹事ペーパーに寄せる。
そういふ者たる在りが困がりしているのではないか

冷たい職場が心をむしりむ

と話しかける絶好のチャンスじゃ。上回り先輩方は、ぜひ若手社員を本道向軒舎に誘うるが、おまけにね、心を新たに仕事熱意で職場にこなしそう、みんなで大団円好く参加してもらおう。まずは、おじいじと懇親話からでもよいから

ヨーロッパ新聞で「こんな配布を目にしました。」と、根がイタリア企画理念で、中止上げた「ライ

卷之三

「スカートフランが自に入るが、たまに画面を見
戻さなくてはいけない時間がかかる」（六一バ
ードジョンソンズ）（龍谷書院文庫）

体力が出来たが落したのが原因でした。この結果又内密を真摯に取扱う事に成功しました。

を感じなさずで、特に若い社員の入社者は社会、会社に慣れずおらず、問題があるても言ひ出せないのが現状だと思います。上司や

これが五輪競技の開幕から半年後、最初の種目である

めくらでござりました。」それもイナティックの全義理念の「ワニス・エ・ワニス」【パートナーパート】の実践が何よりも大切な事か。

この機会おもしろいのは想像力や思考力が
發揮される事ですが、この「にじ」、むかで、あ
まりスケルプトをしないが、何が要ですか、それは
冠だけがわざとません

人生第一番大切なものと感覚だ

「本物にならなければ感じられない」本物の心を
が本物に至る唯一の道だらうある。

「流行は廻れるが、本物は廻れない。自分が
本物にならなければ感じられない」本物の心を
が本物に至る唯一の道だらうある。

「上田先生の文章が身にこなます。またや
りもじこなす」とおなじくあります。

イナランク達『星一郎』に感嘆します

「歌姫」10月号に掲載された上田昇太の文
章を一部紹介します。

「丁度ござりますが、某と、ノリ深化して、心
の声」よろか、「材料」内真「泡立性・凝固性」
「ターピング」これが加工技術である技術を深
化(活用)して、その加工技術の発展が、工程
内部改修・設備更新結果的に構成やもの
のや、でかねん人間の心」とおなじく、そのためには
大切なのは確実で、頭の良さは関係なし」

「確実は本気さの証明など、それは思ひません。
本氣であることを示すのは確実しかない。本物
は統一/統ければ本物にならぬ」

ができないまま、おじいさんの本物感覚を必要
失敗します。今後技術を入れて」「もうと深化
させ自分のものにする」とが大切なのです。
より「加工点の深化(泡立性)を追求すれば
する本質の証明であり、「続ければ本物とな
れぬ」じとうじとうして、それをおもむか
新しさをもつたのです。

「即時技術・加工点」がこうもおもむかしくし
なかなか深化しないのが現状なのです。メー
カーは慣れるままで「深化」としての勘定
して「他の社が多いのが現状です」だから「三
ツ子」など、風景写真の考え方があるのです。
他社もおもむかしなじみにあらじめない、重
複な体質のイナランクにしよう。

六五

心體光明、暗室中も青天。無頭暗昧、白天下坐闇冥。

心体が光り輝いてるが、暗くへやの中でも青空は望み見られる。無頭が悟念にくらまされ
いやと、白昼の心とでも言葉をとりつかれる。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次
2018.10
No.302

すここれはイナテックの一つの特徴と言つてもいいと思ひます。この10年間、2S(整理・整頓)から始まり、TPMのステップ展開、油漏れ対策、油こぼし対策など、20分間清掃時間を利用して行つきました。

しかし、今までやつてきた中で、「このやり方でいいのか」「何か違うな」と考えていました。経過の中では仕方がなかつたかもしれません。イナテックの良い所は、継続できるところです。

イナテックの良い所は、継続できるところです。問題意識をもつて取り組めるイナテックしながら、問題意識をもつて取り組めるイナテックだからいいのです。

イナテック平湖の総經理、鈴木俊守さんが毎月平湖の社員さんにメッセージを書いてくれています。大変分かりやすい言葉で表現されています。イナテック平湖の考え方や活動の内容は、日本のイナテックにとっても大変勉強になります。今後、隔月で回封しますので、参考にしてください。また、そのメッセージの「意見もいただけたら幸いです。

この8月から「20分間清掃」は、「おそうじ」に徹底しよう、とお願いいたしました。皆さんのお陰で少しずつ機械がきれいになってきたのが実感できたと思います。

まずは、「きれいで気持ちがいい」という感動を味わってほしいのです。

我々が原点に返つたのは、この「20分間清掃」を通して、「きれいで、こんなに気持ちがいいんだ」という感動を味わつてほしい。そして、その感動を告げて共有し、これから入社してくれる若者に、その感動を教えてあげる社風にしたいということです。

・改善はない
・油こぼし・油漏れは直さない
・点検もしない

イナテック20分間清掃
イナテック全社員で「20分間清掃」を始めて10年目になります。「10年恐るべし」で

間内に、
・仕事はしない
・打合せはしない

そのおそろじ(20分間清掃)のルールは、時

残念ながら、不休災害が起きました。それは「チョコ停」を復帰しようとした時、製品が外れて手の上に落ちたためでした。怪我をした社員さんには申し訳ないとしました。

しかし、この「チョコ停」は問題です。「チョコ停」は、ややもすると、通常作業になってしまい、気づかない場合が多いのです。だから、上司や

安全環境担当が、第三者の目で、作業者の方の『行動』を観察してあげてください。生産管理板には、このチョコ停は到底表現できるものではないからです。

ハインリッヒの法則のように、1件の災害の陰には300件のチョコ停がある」ということです。今、上司の方々がチョコ停の間込みをしています。作業者の皆さんには、「いろいろ気づいた」と教えてください。

安全な職場を作りあげましょう。



『ダントツ企業「超高収益」を生む、7つの物語(宮永博史著)』を読んで

現在イナテックは、若手・中堅社員の方々に80周年(2003年)に向けての長期計画を策定していただいている。今までやつてきて良かったことは継続し、変えなければならない」とは変えています。

その「変える」の中には、我社で問題だと感じている「価格」もあると思いますが、この宮永氏の著書に「アイリスオーヤマ」の事例が載っていました。

一般的にコスト積み上げ方式で価格を決める場合、原料費、製作費、人件費などを足し、それに利益を上乗せします。しかし、そうして決めた価格で売れないと、値下げすることになります。結局利益を削ることになります。

自信を持って良い製品を開発、製造し、価値に見合った適正な価格を決めています。安くしたからといって、お客様が1つ買うものを2つ買うことはありません。アイリスオーヤマでは、他社が安くしたら、価格競争ではなく、次の新しい市場を開拓する方を選んでいます。

参考になるのではないでしょうか。

それに対し、アイリスオーヤマは、まず「売る価格」を決めます。そして、値引きはしません。その販売価格で利益率10%を確保するようコストを抑えます。金型製作から材料として使う釘やネジまで内製化していく、利益を確保するためのコスト計算は徹底しています。

名譽未抜羣、威脅干乘甘一風、總理塵情、客氣未融者、難深四海利萬世、終焉剝枝。
名譽心のまだ抜けきっていない者は、たとい諸侯の富貴を軽んじ一瓢の清貧に甘んじてみても、本心はすべて負け惜しみで、俗物根性に堕落している。また、血氣の勇がまだ解けきっていない者は、たとい四海の万民を潤し万世に利益を与えるほどであったとしても、本人は結局、野心を持たしたまで、むだな仕業になっている。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2018. 9
No.301

れば誰でも似たような結論に達するということが言える。やはり他艇との違いを生むためには、そこに生身の人間の感性というものが必要にならざる。AIは人間の従者でなければいけないはずだ。

今回の沖縄・東海ヨットレースは、黒潮の大蛇行というひとつのセンテンスに私たちのチーム(Shady Kannon IV)は、翻弄されてしまった。ソフトウェアが導き出したコースは潮流を求めて大きく西へ出よ、というものだった。風がとても弱い場合は、当然潮流が味方してくれるエリザをコース取りすることは大切である。しかし、ヨットとは風で帆走るものであり潮流で走るものではないのだ。当たり前だが。。。結果的に、ラムラインを大きく外してまで行くほどの価値はなかつた。種子島の東に軌道修正した時には、ラムライン寄りを十分な風を受けて帆走っていた後流艇に追い上げられていたのだ。

外洋ヨットレースの世界でも、そのナビゲーションに大きな変革をもたらして久しい。さまたまな情報源から、時系列の気象データと潮流データをヨットのパフォーマンスデータと照らし合わせて、それをソフトウエアが解析して数日先までの理想的とされるコースを導き出してくれる。しかし逆に考えれば、パソコンを操作でき

やはり最後は、人間の経験による判断力・決断力・チーム力が安全な勝利につながり、AIはあくまでもアドバイザーなのだとということを学ばせていただきました。

"座り過ぎ"が危険な病を招く！

日本人は一日に座っている時間が世界的に見てもトップクラス(米国、中国、オーストラリア、インド、ブラジルなどは日本の6割以下)だそうです。長く座り続けると、代謝や血液の流れに悪影響を及ぼし、糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞、狭心症などのリスクが高くなります。これらの病気は一生寝たきり、一生車イス、一生介護の世話をになる恐れがあります。

私のイナテック企業理念を説明する「姿勢」についてお話ししています。それに関連して、司法書士サルビア事務所様の「座り過ぎ」についての記事を読んだので、まとめて紹介します。

"第二の心臓"と呼ばれているふくらはぎは、血液を心臓に戻すポンプの役割を果たし、心臓の働きを助けるが、座っているとその役割を果

たしていない。すると血液はドロドロの状態になり、かのだの中に取り込まれた糖や中性脂肪などを上手に消費できなく、代謝が低下する。

(中略)

しかも「多少運動をしても座り過ぎによる健康リスクは簡単には下がらないのが問題です」と指摘されている。このリスクはスポーツジムで週末に適度な運動をするくらいでは減らせないという。(中略)

スポーツジムに通つたりする必要もありません。エレベーターではなく階段も使つたり、待つている間に膝の屈伸をしたり、読書中でも一章読み終わったら立つてみてください。パソコン作

業の時も、意識的に二までと決めて立ち上がりましょう。座り続けるのではなく、「まめに立つべきだぞ!」(中略)

(中略)

一般的には、コレステロールを多く含む肉類を食べ過ぎたり、酒類の飲み過ぎに気をつけることが大切といわれているが、最近の研究で明らかになつたことに、足を動かす運動に注目し、「歩く」とがいいという。歩くと足の筋肉が静

脈を締め付け、血液を上に引き上がる力を助けてくれる。まさに「足は第2の心臓」である。歩くことが負担の増した心臓を補う働きをし、心臓病の発症を少なくし、心臓病の治療にも取り入れられている。

日本人の寿命は世界一ですが、健康寿命といふ観点からすると、いささか疑問が残ります。自分の足で歩け、自分で食べて、自分で排泄できる健康寿命を目指すことも、働き方改革ではないでしょうか。「ヒンヒンコロリ』を目指して、「第2の心臓」と言われる足を生かす、歩く習慣を励行しましょう。

「みんな元気で仲良く、もうといい仕事ができる、いい会社にしよう、イナテック」

六三

古徳云、竹影掃除塵不動、月輪穿沼水無痕。吾體云、水流任急境常靜、花落難頗意自閑。人常持此意、以應事接物、身心何等自在。

昔の名僧も言つているが、「風に吹かれて竹の揺れる影が、しきりにさはしを掃くが。(もとより影であるから)、さはしの塵は少しも動かない。月の光が、(沼の底まで達して)、沼を穿つてあるようであるが、(もとより月影であるから)、水に跡を残さない」と。また、わが北宋の僧者も言つてゐるが、「水の流れは急であるが、あたりは常に静かである。また、花はしきり落ちるが、眺めている心は自然にのどかである」と。この外境に煩わされない心境で、物事に対応して行けば、なんと身も心も自由自在であろう。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

2018.8
No.300

的「イノベーション」な仕事を普通の人にはどう生み出してもらうかだ。(中略)

米国で富士通子会社の経営を任せられていた頃、社員をすぐ辞めさせないためにどうするかを考えた。「一番効果があつたのは研修制度だった。キヤリアが磨けるというわけだが、それが逆に定着率を高める」となった。

経営者も社員も「一ヵ所に閉じこもっていたの

では互いに不幸になると実感した。フラットな組織、多様性に富んだ社員、アイデアを頭から否定しない寛容な風土。企業自体が丸ごと変わらなくてはならない。

6月27日付日本経済新聞に掲載された元富士通総研会長・伊東千秋氏の記事を一部紹介します。

「イナテック流」働き方改革!

定型作業を自動化する「RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)」やパソコン業務の47%を自動化できるとされている。ルール通りに働いている仕事はなくなると思った方がよい。メガバンクが人員削減に踏み切るように、遠い未来の話ではない。

AI時代に対応できる社員をいかに育てるか、という視点が欠けている。創造的クリエイティブな仕事は天才にしかできない。問題は革新

このような時代の中で、イナテックも「企業自体が丸ごと変わらなくてはならない」ということです。「イナテック流」と言う前に、「まだできていない16日／日・生産体制」、「60H／月・超の残業」、「土曜日・日曜日出勤」という現状を無視しては、「働き方改革」なんて、とんでもないと思っています。

まず順番があります。

1. 日曜出勤をやめよう
2. 土曜日残業をやめよう
3. 土曜日出勤をやめよう
4. 急な休出をやめよう
5. 急な残業をやめよう

これらの実現が先ではないでしょうか。これを実現すると、創造的で革新的な職場が生まれ、働き方改革(AI時代)に対応できる社員が育つのだと思っています。

「AI時代に即した働き方」とは、この超現実の改革から始まり、それがイナテック社員の発想の転換、そして、定着率を高めることにつながるすばらしいイナテックになるものと信じております。

さあ、「急な残業」「急な休出」「ダラダラ残業」は止めましょう。

AIが未来を変える

事例	Before	After
単純作業の代替 -全量検査-	熟練が必要なため増員ができる生産のボトルネックに	単純作業を任せることによりスタッフを活性化
サプライチェーンの最適化	取扱商品が多いと在庫管理、生産管理が大変	在庫管理・生産管理データ、マクロデータを基に受発注予測
成約に結びつく顧客が分かる	見込み客に手当たり次第アプローチ	見込み客ごとに成約率を算出、効率的な営業活動に
AIが人を採用	大学生一人当たりのエントリー数は増加	活躍社員のエントリーシートを学習、AIが合格・不合格を判定
人に見抜けないものを見抜く	口内炎と口腔がんの判別は容易ではない	5,000~1万枚の写真を学習して、がんの判別をする
ピンポイント農薬散布	農家が畠全面に農薬を散布	ドローンと画像認識AIにより虫食い部分だけに農薬散布(この野菜は大ヒット商品にブランド化した)

先日、三菱UFJリサーチ＆コンサルティングの古川貴大氏の講演を開く機会がありました。そこで、AIの導入前後の話について、上記の表にまとめてみました。

この講演の中で、「例えば、戦中の大将が『敵に味方を殺されないようにしろ!』と味方AIロボットに命令しました。さて、味方AIロボットは、どんな行動をとったでしょう?」という話がありました。答えは「大将を含めた味方全員をAIロボットが殺した」です。

つまり、AIロボットに「常識って何?」といふことを教えるのは難しいのです。

AIに感情はありません。倫理観・道徳観もありません。我々が大切にしなくてはならないものは、AIロボットが苦手な「一般常識」、「感情」、「倫理観・道徳観」なのです。つまり、イナテックで毎月参加いただいている木鶴同好会で『人間学』を学ぶことです。やはりイナテックは人間学を学び、王道を進むことで将来とも生き残れる企業にしていきます。

知成之必敗、則求成之心、不必太堅。知生之必死、則保生之道、不必過勞。

でき上がったものは、いつかは必ず壊れるものであることを悟れば、でき上ることを求める気持は、必ずしもそれほど強くはならないであろう。また、生きているものは、いつかは必ず死ぬものであることを悟れば、できるだけ長生きしようとする方法は、必ずしも過度に苦労するほどのこともないであろう。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2018. 7
No.299

(ちなみに、このレースにはトヨタの豊田章男社長も「モリゾー」というチームで出場され、9位という素晴らしい成績でした)

このラリーに挑戦したのも、イナテックが製造しているCVTミッションや、どのくらい走る魅力を引き出せるのかを試したかったのです。

TOYOTA GAZOO Racing
ラリーチャレンジ in 八ヶ岳 茅野

4月22日、トヨタ ガズーレーシングラリーに出場しました。チーム名は、INATEC GG

です。今回は私個人のヴィッツを私費で改造し、6名（現取締役、TPM・山下さん、生産管理・伊佐治さん、生産技術・横山さん、AW技術部・服部さん、私のチーム）でした。

私がドライバーで、山下さんがコ・ドライバー（ナビゲーター）を務め、他のメンバーはサービスや車体メンテナンスとチェックを行つていただきました。

成績は90車中85位でしたが、無事完走でき、チームの皆さんに感謝申し上げます。

次回は8月26日（日）の京都丹後に出場しますので応援よろしくお願ひします。
皆さんで楽しみましょう。

沖縄・東海ヨットレース2018で2連覇

今年のゴールデンウイークに、沖縄の宜野湾から蒲郡までの国内最長距離（約1500キロ）のヨットレース「沖縄・東海ヨットレース2018」にチーム「ジョーカー（X-41）」の一員として参加し、総合優勝することができました。

このレースは4月29日に出発して、5月3日にゴールしましたが、最終日、潮岬を超えて熊野灘に入った5月2日夜から3日未明、あたりは真っ暗で暴風雨、しかも大きくて悪いねりが凶暴に襲い掛かる厳しい状況の中でのレースを強いられました。

しかし、これがロングオフショアレースの醍醐味で、ここしか得られない経験でした。何が起きるかわからない自然と向き合い、乗組員がお互いに助け合つて困難を乗り越えました。その結果、総合優勝を勝ち取ることができました。

のロングオフショアレースは、非常に価値がありました。

今回の過酷なロングオフショアレースは、会社経営にも仕事に対する心得にも通じるものがあります。

まずは、準備力です。あらゆることを想定してセールプランを決定し、それをどの場面でどのように活用するのか、というものです。

次に、チームメンバーに恵まれたことがあります。各ボランティアに素晴らしい技量を持つ人たちの協働でセーリングできました。

皆で助け合い、意見を言い合っていく中で、船長（スキッパー）が最適解を求めて判断・実行し、それに従いすべての乗組員が全力を出し尽くします。

まさしくイナテックの企業理念でいう『相互啓発型』のチームづくりではないでしょうか。一つ間違えば命を落とす危険な状況の中で、いかに全員の技量を考慮し、安全に最速で航海することができます。これが絶対条件となります。

チームメンバーに感謝するところに、神様にも感謝申し上げたいです。それは、私が43年間ヨットをやり続けたことへの神様からのご褒美だと思います。これも企業理念で言います。皆さん一緒に頑張りましょう。

最後に、留守を守つていただいた社員の皆さんにも感謝です。ありがとうございました。

筆耕高嶺、看青山綠水春吐雲煙、識乾坤之自在。竹樹扶疎、任乳燕鳴鳩送迎時序、知物我之兩忘。
筆耕高嶺にして、青山綠水の雲煙を春吐するを見て、乾坤の自在なるを識る。竹樹扶疎として、乳燕鳴鳩の時序を送迎するに任せて、物我の両つながら忘るるを知る。

高楼のすだれ窓から眺めると見晴らしがよくて、青い山々や緑の流れが、雲やかすみを自由に出入りさせているのが見え、天地の自在なはたらきがよくわかる。また、竹や木々が枝葉を茂らせて、つばめがひなを育て、はとが鳴いて、時節をたがえず送り迎えしているのが見え、（わが心はこの自然と一体になって）、物と我との区別もすっかり忘れてしまう。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次
2018.6
No.298

ウシオ電機の牛尾治朗会長は、「自主努力、
自主判断力、自己責任の三つの『自』を身につけることが大切」とおっしゃっています。

こうした企業風土が定着するか否かは、ト

ップの力量次第です。今、自動車業界は100

年に一度の大変革時代と言われています。この未知の世界を歩んでいくためには、やはり

「トップが率先垂範する」と以外にないと考

えています。

AW協力会の代表としての覚悟
2018年度のアイシンAW様の調達方針説明会で、「今年度は、かつてない規模での連続した大増産を予定している」と説明がありまし

た。このような状況においても、ベースとなる絶対条件は、安全・コンプライアンスの最優先と号口品質の確保です。そのためには、トップが現場に寄り添い、率先垂範することが必須です。

この大増産で大切な」と

イナテックの「働き方改革」
先月9日付中部経済新聞の「コンプライアンスを高めるための行政指導・調査の対応実務アドバイス協定の是正指導と事前対策」という記事にこう書いてありました。

この大増産で大切な」と
松下電器の大番頭と言われた高橋荒太郎元会長は、人事方針について「よい経営の根幹は人である。忙しい時ほど人の育成に心がけよ」。そして、「上に立つ者は、誠意と大きな愛情を持つて社員に接せよ」とおっしゃっていました。

トップは、集団の長として四六時中、会社や社員の成長を考えております。一方で、ペテラン社員が、事が起つたびに「どうしましよう」と、トップや上司に頼りきってしまうのであれば、成長はありません。

我々も社員を大切に育て、笑顔の絶えない、風通しの良い職場づくりを目指さなくてはなりません。そして、この大増産でも安心して仕事を任せていたたけるよう、ベースのしおりした筋肉質のイナテックにしていきます。

つまり、「日曜日」には会社に出勤してはいけない、という」とです。
イナテックでも勝手に休日出勤している部署があるようですが、やらない覚悟を決めていただきたいたいのです。

今、イナテックでは「働き方改革」として生産能力を16時間／日体制を確保し、土日を休めるための投資を決断いたしました。完成するのは2019年度になってしまいますが、頑の中（考え方）は、今すぐ切替えてください。

「土日は働かない!」、「長期連休は、みんなで休み、リフレッシュしよう」、そして一番言いたいことは、「急な残業のお願い、急な休出のお願いは、絶対にやめよう」といったことです。

「急な残業」・「急な休出」がある会社で働きたいと思いますか。私はそのようなお願ひをしたくないし、されたくないです。残業や休出をなくすためには何が問題か、何をすればいいか表面に出し、解決させましょう。

これも部課長の意志ひとつで決まることです。部課長も部下のことを本当に考えるのであれば、休出、残業をなくすことです。

勇気をもって、「休出、残業をやらない」と決めてください。部下を守るために毅然と取り組んでください。そして、社員と社員の家族を幸せにしてあげてください。それが、ひいてはイナテックを守り、発展する」ことに繋がる」となのです。

「働き方改革」とは、「」ということです。

六〇

有一樂境界、就有一不樂的相對待。有一好光景、就有一不好的相乘除。只是尋常家飯、素位風光、纔是個安樂的窩巢。

樂な境界があると、相対に樂でない境界が待っているものである。また、よい暮らし向きのときがあると、その次によくないときが続いて、差し引きしてしまるものである。ただ、ありふれた食事を楽しみ、無位の境遇に甘んじて、それでこそ安樂な住居というものである。

社員の皆様へのメッセージ

「イナテック創立80周年」

難しい時代には思考の三原則に立ち返る
「人生と経営のヒント」牛尾治朗 著より

株式会社 イナテック

2018.5
No.297

イナテックの改革は長期の目標を掲げています。イナテック創立80周年(2001年)をターゲットに夢を整理してみました。

日本は明治維新から七十年で敗戦を迎え、そこから奇しくも同じ七十年という月日を経て、この歴史的な大転換期に直面しています。

最初の七十年はイギリスから大いに学んで近代化に大成功を収めました。また戦後の七十年も、西側の盟主アメリカに学んで奇跡ともいえる復興と経済成長を果たしました。

イナテック創立80周年 グループ全体の
「夢」

・活動拠点 8社

・グループ社員 800人+(ロボット人口2
00名)

・経常利益率 8%

・売上シェア AW様以外のシテア 50%

「イナテック2018年度スタート」

イナテック2018年度は改革の始まりだと思っております。世間では「100年に一度とい
う大転換期」とも言われていますが、まさしく、
イナテックを変えていく大転換期です。

とは言うものの、お客様(AW様)との取引は
引き続き最優先であり、不変です。大切なこ
とは、売り上げを拡大しつつ、次のビジネスの
「シェア」を拡大することです。つまり、今まで
培った技術をベースにビジネスの柱を増やし、
一社依存経営から脱却を図ることです。それ
がスタートする年なのです。

そして、イナテック全社員が一生安心して働
ける職場を提供し、ご家族の皆さんのが幸せに
なることが我々の目指すところです。

この数字(夢)は、決してムチャクチャな目標
ではなく、「100年に一度」と言われる大転
換期において、イメージのつけやすい「夢」だと
思っております。

これから具体的に実行してまいります。ま
ずまずおもしろくなっていく2031年に向け
て、みんなの協力を頼りたいと思います。

第一 目先に捉われず長い目で見る

第二 一面的に見ないで多面的全面的に観
察する

第三 桜葉末節に「だわる」となく根本的に考察する。

次なる七十年へのスタートとなる」の節目の時に、時代の趨勢をしっかりと見極め、変化に機敏かつ柔軟に対応しなければなりません。

この安岡先生の思考を我がイナテックの仲間も実行する時だと思います。

この「思考の三原則」をイナテックに当てはめると、

第一 マスコミの言う、2005年までに全ての自動車がEV(電気自動車)になってしまふかのような記事に騙されるとなく、冷静に情報を集める」とも大切だ。EVの時代がいずれ訪れるにしろ、残る部品は必ずある。

第二 イナテックの強みは「型製作から鋳造、切削までの一貫生産」ができることだ。自社の強みを多面的に捉えることによって生き残る可能性は大である。

第三 EV化に向かうにしろ、2035年にはM/T、A/Tがまだ75%残るという試算が日経の記事にも載っている。それまでにイナテックの得意な切削加工、歯切加工、熱処理、刀具の再研磨ドリル製作、試作部品加工、鋳造、型設計・製作などの技術を磨き、深化させれば、どの業界にもニーズがあるはずで、「三方よし」のビジネスは成立すると考える。

80周年に向けての夢の実現が、必ずイナテックの改革につながると信じております。

五九

熱鬧中着一冷眼、便省許多苦心思。冷落處存一熱心、便得許多真趣味。

目まぐるしく多忙なときに、(のぼせ上らすに)、一点の冷静な目をすえておれば、それで多くの苦しい思いをしないですむ。(これに反し)、不景氣になったところで、(沈みこんだりせずに)、一点の熱情をしておれば、それで多くのまことの趣を味わうことができる。

A large, handwritten signature in black ink, appearing to read "R. Nagai". It is written in a cursive, flowing style with some loops and variations in thickness.

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

2018.4
No.296

代表取締役社長 稲垣 良次

「100年に一度の大転換期」

今、現在がまさにこの時期に突入しようとしています。

前号で松下幸之助氏の「雨が降つたら傘をさせ」について述べましたが、少し違つた見方で、これを表現している本がありました。牛尾治朗著「人生と経営のヒント」です。

『易經』に「治に居て乱を忘れず」という言葉があります。平稳な時も万に備えることを怠つてはならないという教訓です。

日本は多くの問題を抱えていますが、海外からは、「こんなに平和で住みやすい国はない」と高く評価されています。しかし、肝心の日本人がその自覚に乏しいことが気恥かりです。

ゆえに大事なことは「治に居て乱を忘れず」

の心を胸に、「これから直面する転機に果敢に立ち向かっていく」ことです。日本の前途は偏に私たち一人ひとりの自覚と努力に懸かっていますことを忘れてはなりません。

今のイナテックは、お客様のお蔭で非常に多くのご注文をいただき、2021年くらいまでは大変忙しく、増産のチャンスに恵まれている状態です。

『易經』にある「万に備える」とを怠つてはならない」という教えは、イナテックにとっては、今の中車を含めた加工技術を深化させる」とです。ただ量産に堪えるだけでなく、今のうちに「不良ゼロ・故障ゼロ」を実現させ、次世代の発展に向け、深化させることです。

さらに牛尾氏の同著より紹介します。

大河の真ん中を悠々と進む

「人生と経営のヒント」牛尾治朗著より

2018年度新入社員の皆様、入社おめでとうございます。ようこそ、このすばらしいイナテックへ。入社していただきありがとうございます。これからは皆さんの時代です。この大変換期を乗り切れるのもみなさんだと思っています。

安岡正篤先生から教わった「中庸」という言葉

です。中庸とは川の流れの真ん中にいて、悠々と流されてゆく状況をいいます。

中国に「んな戯れ詩があります。

「中游中游 不安吾頭 運動來了 隨大流」

これは「真ん中だ 真ん中だ 先頭などに立つてはいけない。ことがはじまつたら 大きな流れに隨いなさい」という意味だそうです。

いま大事なことは、世の喧嘩に惑わされて本質を見失うことなく、大河の真ん中をゆつたりと歩くように、時代の趨勢の中軸を歩んでいくことです。

これもまさしく「雨が降つてきたら傘をさせ」そのものだと思います。中国4000年の歴史から生まれた時には重みを感じます。

新入社員諸君、ようこそイナテックへ

そぞく、私なりに電話に例えて時代を考察してみました。

イナテックの第一世代【固定電話】

昭和元年から昭和19年まで

これは創業期で、稻垣邦松会長が生まれ、何もない時代からの出発でした。

第二世代【ガラ系】

昭和20年代、私が生まれた時代から昭和39年頃まで

第三世代【スマホ系】

昭和40年から昭和ラスト時代

第四世代【A・I・I・T・C】

平成元年から平成12年(2000年生まれ)

致知出版社社長の藤尾秀昭さんは、「人間から心・道理を取り除いてしまうと、鳥や蛇と何ら変わらない」、「人間は志や夢、理想を持つて初めて人となる」、「そして自分の仕事に精一杯打ち込む」とだ。趣味では人間は磨かれない。人は仕事を通してしか自分を磨くことはできない」と言い切っています。

そこで、次のことを贈ります。
一、言われた事しかしない人
二、楽をして仕事をしようとすると人
三、続かないという性格を直さない人
四、すぐに不貞腐れる人
人間は趣味では絶対に人格は磨かれない
人間の人格は、仕事に打ち込む中で磨かれていく

素直な人が伸びる

成功しない人の四条件

とあります。

人情世態、候忽萬端、不宜認得太眞。堯夫云、昔日所云我、而今却是伊。不知今日我、又屬後來講。人常作是觀、便可解却胸中實矣。

人情世態は、たちまちにしていろいろに移り変わるものであるから、あまりその一端だけを真実なものと考えすぎない方がよい。邵堯夫も言っている、「昔、我であると云つたものが、今ではそうでなく彼(第三者)であった。従つて、今日の我が、また後日の誰になるかもわからぬ」と。人は常にこのような見方をしておれば、それで胸中のわだかまりを解くことができよう。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2018.3
No.295

今回の人事異動で思つたこと。

それもすべて「準備力」なのです。だから、2月1日の内示からの3か月間は、いつよりも何よりも緻密に、具体的に、今年のテーマである「こだわり」を持って、全員で計画を立ててくれます。

「あのかわいい新入社員たち」も含め、「おれ

の次は○○だ」「○○を育てきつて俺の後釜にする!」という皆の気持ちの連續が、イナテックグループが永続する最重要項目だと思つています。

イナテックグループの人財育成

2018年がスタートし、3月はイナテックグループの中でも大切な人事異動の季節です。2月1日に内示し、1か月かけて引継ぎを行います。3月1日から、イナテックの2018年度の会社方針に沿った年度計画を各部署で職務を練つていただき、5月のスタート時に最速で効果が出るよう準備をするわけです。

今は「人生100年時代」と新聞によく書かれていますが、仕事ができる時間は、たった40年ほどでしょう。しかし、会社は永遠に継続、永続させなければなりません。もちろん「稻垣アミリー」は血縁を大切にし、途切れることのないよう事業承継を一所懸命努力、実行しております。だから社員の皆さんも40年間という限られた時間の中で、次の(社員)にバトンを渡していただきたいわけです。

前述の「イナテックの人財育成」ではないのですが、今までの延長線上での発想ではなく、頭を柔軟にし、その時に「どうすればいいのか」、「どのように考えればいいのか」と対応するので

先走ることは必要ありません、「雨が降ったら傘をさせ」と松下幸之助氏が言われたよう

に、雲行きを見、雨がボツボツと降ってきたな
というときには傘がもう手元にあって、傘をさ
せば濡れなくてすむというわけです。

頭の固い人は（準備力のない人、世の中や空
気が読めない人、新聞を読まない人も）、雨が
ボツボツきてから傘を探し出す。ところが、整
理整頓（頭の中も）できていないから、ずぶ濡れ
になる。ずぶ濡れになつてから雨宿り先を探す。
すでにそこは人でいっぱいに入れない。しようが
ないから雨の中を走るしかない。そしてくたび
れ果てて風邪をひく。ひどければ肺炎を患つて
入院、運が悪いとお亡くなりになる。

「雨が降つたら傘をさせ」は、大変重い言葉で
す。晴れた日に傘をさしていたら、手が疲れて
しまい、肝心な雨の時に傘がさせなくなる。「そ
んな早とわりはやめとけ、雨が降り出でてから
でいいんだ」

だから、世の中が今と明らかに向かって、ど
のようになつていくのかということをいつも議論
しながら、新聞やいろいろな正しい情報を探
頭の中で熟成させておくことが大切なのです。

「足元を大切に」

先程の「頭を柔軟に…」の話で聞進えては、
けないのは、「じゃあ今からイナテックは人工衛
星を作ろう」、「一人乗りのドローンを作ろう」
とか、若者の発想を大切にして、もっと新しい
発想、発案ができる若者を育てよう。という意
見が出がらですが、そういう意味ではないとは
つきり言つておきます。

我々イナテックは、今得意な技術でビジネス
をさせていただいています。「そのビジネスが『第
四次産業革命』でどうなるのか」「お客様はどう
なるのか」「今の我々のどんな技術を深化さ
せ、どのマーケットを目指すのか」などを柔軟に
発想することが必要なのです。

「雨が降つたら傘をさせ」 松下幸之助

例えば輸送手段は、人力車→馬車→2輪車
→3輪車→トラックへと変わり、その後に乗れ
た人は成功者でしょう。私が子どもの頃は人力
車でしたが、私たちの年代は、その変遷を見て
きました。

昔、馬が全ての輸送手段だった時代、馬は人、
間の言うことを聞いて、一所懸命働きました。
朝から夜中まで働く馬であれば、どんな馬でも
良かつたのです。今は、競馬場で走るサラブレッ
ドの馬なら生き残れるでしょう。しかし、そん
な馬は一部です。我々も馬のようになつてしま
いますか。それとも、時代と共に手段を変え、
世の中に歩いていきますか。

どちらを選びますか。頭を柔らかくして考
えてください。

自老視少、可以消奔馳角逐之心。自痴視榮、可以絕粉墨塵囂之念。

老年になつたときの心持で若い者をながめれば、互いに駆けまわり争つて功名を求める
心持を、消すことができよう。また、落ちぶれたときの心持で榮えている暮らしをながめれば、
うわべだけのはなやかな榮華を求める心持を、絶ちきることができよう。（人は年少にして老後
を思い、盛んな時に衰えた後を思うべきである）。

②犬も朋輩鷹も朋輩（いぬもほうばいたかもほ

うぱい）

同じ主人に仕える以上、身分に違いはあるでも、仲良くしていく義務があるということ」と、会社の同僚などについて語る。

株式会社 イナテック

2018.2
No.294

社員の皆様へのメッセージ

代表取締役社長 稲垣 良次

犬に関する「ことわざ」

④夫婦喧嘩は犬も食わぬ（ふうふげんかはいぬもくわぬ）

夫婦喧嘩は、内輪のつまらない争いで、すぐ坦直にするものだから、他人がなまじ氣を使つて仲裁などをするほどのことはない。何でもよく食う犬でさえ、見向きもしないのだから放つておくほうがよい」という意味。

⑤食うだけなら大でも食らう（くうだけならいぬでもくう）

ありがたみの分からないと、おけの分からぬものに、どんな良い教え、立派な道を説いてもいのうに感ぜないと。

①犬に論語（いぬにろんじ）

今年2018年は戌（犬）年です。これにちなんで、「犬」が登場することわざを調べてみたので、紹介します。

新春のトップ訓示に関する記事を多く目にしました。その中に、「今現在は、人類が『火』を発明、発見した時と同じくらいの革命が起きている」という語を見つけて、ハツとしました。
だから今年は「その事実を真摯に受け止め、頭脳を柔軟にし、『今何を考えねばならないか』『今後どうしていかなくてはいけないのか』というプランを立てることにある」ということです。

新しい将来、具体的には何が起るのか。日本経済新聞に「進化するソビリティー」という特集記事があり、第四次生産革命の一部がわかりやすく載っていました。これによると、2030年までに次のようなることが起るといつてます。

「犬」でことわざを検索したのですが、まだたくさんありました。大様から学ぶことがこんなに多くあることに気づきました。皆さんは参考にしてください。

2019年

・中国、EV生産を義務化

2020年

・小さく折り畳める自転車を使ったシェアサービスを開発

②犬は三日飼えば三年恩を忘れぬ（いぬはみつかかえはさんねんおんをわすれぬ）
犬は三日飼つただけでも、三年間その恩を忘れない。まして人は恩知らずであつてはいけない、という意味。

「第四次産業革命」真っ只中

・駐車場や交差点に駐車している間に電動

車輛を充電可能に

・バスが自動運転化

・車と飛行機を融合した、空飛ぶ車が発売

2021年

・運転手なしで移動

・ハンドルやアクセルがない完全自動運転車が

配車サービスで導入

・真空に近い筒を超高速で走る「ハイパールー

ブ」が実用化。時速1200キロで走行

2022年

・都市間をロケットで移動。ニューヨークと上

海の間を39分で結ぶ

2023年

・宇宙旅行が実用化へ

五六

世人只縁説得我字太眞故、多種種嗜好、種種煩惱。前人云、不復知有我、安知物爲貴。又云、知身不是我、煩惱更何侵。眞誠的之言也。

世間の人々は、ただもう「我」という一字を、あまりにも眞実なものと考え方でいる。それで、いろいろな好みや煩惱が多くなってくる。古人も言っているが、「我のあることもまた知つていい」と、どうして、「(その我に対しても)物の貴いことを知ることができようか」と。また言うに、「わが肉身は(假身であるから)、我ではないことを知つておれば、煩惱などどうして我を悩ますことがあるか」と。これらは眞理を看破した名言である。(我にして我にあらずの真理を看破している)。

2024年

・1万1000メートルの深海に人が乗つて潜

れる潜水船を開発

2025年

・高速道路を走りながら電動車両を充電で

きる技術を開発

・鳥の翼のように形を自由に変えて省エネで

移動できる飛行機を開発

2026年

・東京・品川—名古屋間でリニア中央新幹線

開通。40分で移動できるように

2027年

・化石燃料を使わない飛行機と船が実用化

2028年

等々、いろいろな事が起つてくることは間違

いません。すべてが全地球に影響を及ぼす
ということではありませんが、世の中は「のよう
な方向に進み、その道筋は見えています。だか
ら、頭脳を柔軟にして、この「第四次産業革命」
に乗り遅れないことです。

(日本経済新聞 2017年1月26日付)

ニッポンの革新力「進化するモビリティ」イ
ノベーションロードマップ2030より一部抜粋)

D. Nagashiki

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

2018.1
No.293

寒い世界に閉じこもらず、広い世界のあるところを知らない。狭い知識にとらわれず大局的な判断のできないと考え。

幸運は熱湯に入れるときに飛び出だが、冷水から徐々に温度を上げていくと変化に気づかず、やがてやあがて死んでしまう。急激な変化には懸念に対処しようとするが、事務がゆっくりと推移するときには、対応が遅れがちになり、気づいたときには深刻な危機に陥るという理論。

昨年、社員の皆様と二家族の皆さまには大変お世話になりました。お陰さまで年度利益計画も達成できるようになってきました。これも社員の皆様の努力の賜物と感謝申し上げます。

年頭式の挨拶より

2018年のテーマは、「選択と集中、そして「二だわり」」です。

去年、私はこの場で2017年のテーマは「選択と集中」と申し上げました。これは、「不良ゼロ」「故障ゼロ」に向けてということです。我イナテックもまた元上高営業利益率4.8%を目指そではありませんか。我社の目標対実績の達成度も大切ですが、「井の中の蛙(かわづ)」や「ゆでガエル」状態にならないよう、世間の現状を知つておかなければなりません。

これからも、お客様から信頼され、仕事がいただけるように「不良ゼロ」「故障ゼロ」にして、「二だわり」という意味を込めて、今年は「選択と集中、そして「二だわり」としました。

トリ年の昨年は、高い生産台数を乗り越えるために、トリのよき羽ばたき、皆、頑張ってまいりました。

イヌ年の今年は、更に高い生産台数を乗り越えるために、足元をしっかりと見据え、生産計画を緻密に立て、質・量・コストを作り込む一年としたいと思つております。

そして勿論忘れてはならない事は、足元の安全第一・品質最優先です。我々職制が現場で率先垂範すべき最重要項目です。

鼻が利く犬のように、職場の様々なことを嗅ぎ分け、現場の皆さんの声を仕事に反映させて成長していきましょう。

2018年のテーマは、「選択と集中、そして「二だわり」」です。安全は勿論、品質不良ゼロと故障ゼロに「二だわり」2018年にしようではありませんか。

私たちのお客様であるアイシンAW様は、今年度、当初の計画を大幅に上回る生産台数を達成されました。我イナテックも、お陰様で、沢山仕事をいただき感謝しなければならない

と思つております。

「何事も心を込める」

平井正修著「山岡鉄舟修養訓」より。イナテックの企業理念に通じる所があるので、まとめて紹介させていただきます。

人は小さい仕事とか大きい仕事という見方をしがちだ。しかし、本来、仕事に大小はない。大小というのは我々が勝手に決めつけているだけの話だ。

どんな仕事であれ大切なのは、体と心を一つにして取り組むことだ。やるべきことをやればいいのだ。少なからず目の前に避けて通れない道があるならば、逃げずに「えいやー」でやるしかないのだ。

座禅では、左右の足を組む正式な坐り方と「半跏」という片足だけを組む坐り方がある。

半跏は足が痛くなったらすらして痛みを和らげることができるが、そのうちまた痛くなる。

座禅を続けていれば慣れると思うだろうが、痛いのが嫌だからと半跏にして逃げていると、いつまで経っても痛いままだ。

本当にやらなければいけないことは、どんなに苦しくても、正面から堂々と心を尽くしてや

っていく。それが一番大切だと思います。逃げながら仕事をしていたら、何年経ってもモノにはなりません。これは修行や仕事だけではなく、すべてのことに言えるのではないか。

怒りは怒りを、笑いは笑いを引き出す

中部経済新聞に興味深い話が載っていました。「笑う門には福来る」新年ですので、「笑いについての話題を紹介します。

一方、笑いは喜楽を表す、より進化した感情ながら仕事をしていたら、何年経ってもモノにはなりません。これは修行や仕事だけではなく、それは高度な社会性を維持していくために必要なからだ。相手が笑っていると自分も楽しくなる。つまり、笑いは相手の笑いを引き出す。

笑いは、自分の怒りを沈め、相手の怒りを和らげる。人間関係を良好に保ち、ストレスを低減するために笑いは欠かせない。怒っても怒り損、笑った方が得。無用な争いを避けるためにも、怒らずに笑う。

笑う、笑う、笑う。

笑顔の絶えないイヌ年、笑顔の絶えないイナチックにしましょう。

2018年、今年もよろしくお願ひいたします。

感謝。

五五

花居盆内、終乏生機、鳥入籠中、便滅天趣。不若、山岡花鳥、鶴集成文、翫翔自若、自是悠然會心。

花も植木鉢に植えると、だんだんに生気がなくなってしまい、小鳥も鳥かごで飼うと、次第に天然のよさがなくなっていく。それよりもやはり、(天然のままに)、山岡の花や小鳥が、混ざり集まって色どりを添え、思いのままに飛びまわって、それぞれがのびのびとして、いかにも楽しげであるのには及ばない。